



子どもの患者のために人形を作る参加者

### 子ども患者のために

福山の「ドール」100体仕上げ  
クラブ

福山キワニスクラブに贈る。  
 は19日、市内のホテル 会員と公募で集まっ  
 て子ども患者に治療 た市民計23人が100  
 方針を説明する際など 体を仕上げた。多くは  
 利用する布製人形を 「キワニスドール」と  
 作る集いを開いた。人 呼ばれ、高さ約40センチ、  
 形は近く、市内の病院 重さ約50グラム、白い布を

筒状に縫い合わせて綿  
 を詰める。医師が説明  
 に役立つほかに、子ども  
 もの遊びにも使う。  
 同クラブは2004  
 年の設立以来、計65  
 0体を贈ってきた。応  
 募して参加した同市伊  
 勢丘の主婦河村有為子  
 さん(70)は「人形を抱  
 っこして安心して寝て  
 ほしい」と話していた。  
 (武内宏介)

### 福山キワニス がドール作り

国際奉仕団体「福山キ  
 ワニスクラブ」(和田芳明  
 会長)は19日、福山ニ  
 ーシキヤッスルホテルに

会員九人が集い、クラブ  
 独自に展開するキヤラク  
 タ人形の「キワニスド  
 ール」を新たに百体作製  
 した。  
 キワニスドールは一九  
 九三年、病気の子どもた  
 ちと医師とのコミュニケ  
 ーションを図るため、南豪  
 州で誕生した身長四十



ドールにポリエステル綿を詰める会員ら

約、体重五十グラムの真つ白  
 な人形。医師らが病気を  
 患う子どもたちに治療の  
 説明をしたり、体の構造  
 を教えるのに役立つ。  
 日本には二〇〇一年に  
 紹介され、これまで全国  
 の医療機関など四百三十  
 六カ所に一万五千個が贈  
 られてきた。福山キワニ  
 スクラブでも中国中央病  
 院、福山市民病院、日本  
 鋼管福山病院などに五百  
 九十個をプレゼントして  
 いる。  
 この日は、あらかじめ  
 木綿生地で縫製されたド  
 ールの中に、ポリエステル  
 綿を詰め込む作業を行  
 った。あるボランティア  
 は「近ごろのプラスチック  
 製おもちゃと異なり、何  
 もない白が立派な個性に  
 なって、いますね」と話  
 していた。

問い合わせは四〇八  
 四・九八二・五五五九  
 (福山キワニスクラブ)まで。